

平成 24 年度京都大学吉田地区 ESCO 事業提案審査の講評

京都大学吉田地区 ESCO 事業は、民間のノウハウ、経営能力及び技術的能力を活用することによって、京都大学における省エネルギー化を推進し、環境負荷の低減並びに光熱水費の効果的な削減を図ることを目的としたものであります。先般、広く事業提案を募集したところ、(株)関電エネルギーソリューションを代表者とするグループから参加表明及び選考用提案書が提出されました。

平成 24 年度京都大学 ESCO 事業審査委員会は、この提案書に基づきプレゼンテーションを受けヒアリングを行うとともに、提案審査要領に則り厳正かつ慎重に審議した結果、(株)関電エネルギーソリューションを代表者とするグループが最優秀提案者として相応しいと認めました。

本提案では、高効率小型貫流ボイラーの採用によって省エネルギーと二酸化炭素削減の効果が大きく投資回収効果が非常に高いこと、さらに電気の需要（デマンド値）の平準化に関する措置として太陽光発電設備導入や節電機能付き高効率 EHP を導入する等、省エネルギー手法の種類が多く提案されており、具体性・妥当性があり、全体としてバランス良く計画されていることなどを高く評価しました。

今回の募集に際しては、必須項目が多く、提案の自由度が少ないことが懸念されましたが、蒸気システムの効率向上、照明設備の LED 化など、省エネルギーと二酸化炭素の削減につながる意欲的で優れたアイデアや、各種 LED 照明の導入などライフサイクルでみた廃棄物や環境負荷低減を目指す取組みなどが盛り込まれていました。

本事業の実施にあたり、こうした高い技術力と新しい着想に基づいた貴重な提案をいただき、かつ多大な労力をご提供いただいた提案者に、心から敬意と感謝の意を表しお礼を申し上げます。

平成 24 年 10 月 11 日

平成 24 年度京都大学 ESCO 事業審査委員会委員長

塩 路 昌 宏